

生き立ち

昭和57年2月に、私たちNPO法人生きるの前身である、「障害者が地域で生きる会」発足にあたり、障がい者の自立と社会参加の実践の場としての共同作業所の建設を第一の目標に掲げ、多くの協力者を募ると共に、建設資金捻出の為に、昭和58年1月より本格的に資源物回収を開始する。

昭和59年、作業所建設の協力者が得られ、自己資本75万円をもって「障害者が地域で生きる会・共同作業所」の建設と開所に至る。

平成20年4月、国の方策により、我が共同作業所も法人化となり「特定非営利活動法人生きる」となる。

わたしたちの作業所は幾多の困難にもめげず障がい者活動を推し進めています。

活動内容

私たちの作業所では、在宅の障がい者が地域で生活し地域の人や支援者・ボランティアの方との交流する機会をもって、社会参加をめざしています。

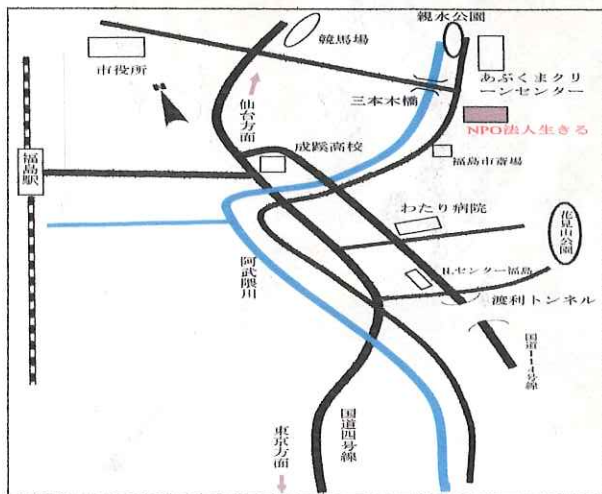
活動内容としては、資源物(古紙、古着、ダンボール、アルミ缶、リサイクル品等、)の回収作業。

和紙の折染めを加工した手工芸品の製作、資源物利用の手工芸品などを作り販売しています。

和紙の手工芸品



月曜日～金曜日
午前9:30～午後5:00
(土・日、祝祭日は休みです)



生きるの周辺地図です。私たちの作業所の近くには花見山公園や親水公園などが有り、自然豊かな所にあります。

花見山公園



親水公園の白鳥



只今ボランティア募集中

特定非営利活動法人

生きる

共同作業所

障がい者の自立と社会参加を



〒 960-8141 福島市渡利字三本木前14

TEL : 024-523-3853

FAX : 024-523-3857

私たちの作業所でやっていること

手工芸品作り
和紙の折染めをして色々な手工芸品作りをしています。



毎週火曜日は折り染め教室をやっています
みなさん来てください。

講師：さとうてるえ先生

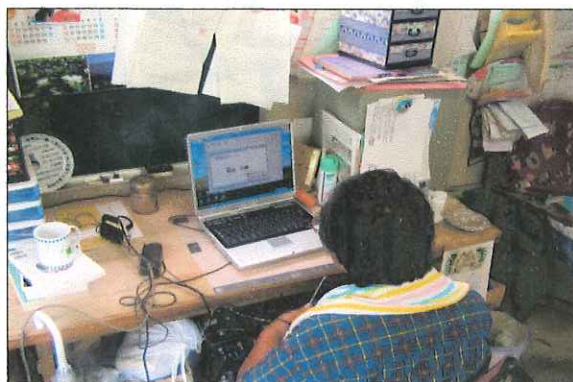
**資源物（古新聞・古ダンボール・古本・古着
リサイクル品等）の回収分別作業を行い、活動資金
源にしています。**



バザーの開催
年に二回、春と秋にバザーを開催
しています。



パソコンの学習
パソコンを使ってみたい所員が自主的
にパソコンの使い方を学習しています。



研修会の開催 所員・職員・ボランティア同志の親睦を
深めるために、親睦会を兼ねた研修会を開催しています。

